

菊教給第 212 号
令和 7 年 10 月 27 日

菊池市の学校給食を考える会
代表 中里 千恵 様

菊池市長 江頭 実



秋冷の候、益々御清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より本市行政につきまして、特段の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、令和 7 年 8 月 8 日に提出のあった学校給食に使用する無農薬食材の拡大推進を
求める要望書につきまして、下記のとおり回答いたします。

記

1. 学校給食に使用する有機米の提供持続と拡大をすすめること

令和 7 年度は、12 月 8 日の「有機農業の日」前後で、昨年度（3 回）より多く 11
回、学校給食において有機米の提供を予定しております。

※市環境保全型農業推進協議会から提供頂いた有機米を使用します。

2. 学校給食への無農薬野菜の提供（例えば、ごぼう）を行うこと

保護者からお支払いただいている給食費と直結する問題であり、また、学校給食に
おけるすべての学校への調達量の量などの課題もあることから、無農薬野菜の提供につ
いては、調査研究していきたいと考えております。

なお、今後も安心・安全な学校給食の提供に努めてまいります。

3. 児童生徒、保護者、市民へ、オーガニック給食実施にともなう生産者の思いや環境
への意義などを十分に周知すること

オーガニック給食の提供の際は、校内放送を利用して児童生徒への啓発を行うとと
もに、昨年度同様、市環境保全型農業推進協議会からの普及啓発のチラシを配布して、
児童生徒及び保護者への周知を行います。

また、オーガニック給食実施の際はメディアへプレスリリースを行い、市民への周
知を行います。

以上